

第二弾「ありがとう！淡路鉄道」企画

くたばれ愚連隊上映会

入場整理券配布

空きがあれば当日入場可

日時 **4月26日** (土)
13:30~16:00

★整理券を配布

空きがあれば当日参加可

開場

整理券有り 12:30 ~

整理券無し 13:15 ~

場所 湊地区公民館 大ホール

参加費 無料 定員 300名

内容

淡路島の鉄道は、大正11年に営業が開始され、淡路島の輸送の中心を担っていましたが、戦後の自動車の普及によって昭和41年に廃線となりました。シニア世代の方は幼少期に乗った思い出のある方も多数います。昭和35年に淡路島各地で撮影された映画「くたばれ愚連隊」は、鉄道だけでなく、淡路島の懐かしい風景や多く見られ、若い方には、異国のように感じられると思います。当時のお話や映画を通じて、淡路島の歴史を知ってみましょう。

* 複数名申し込む場合は「参加申込書」の備考欄に氏名を記入



(C) 日活



キャスト (役柄名)

和田 浩治 (松平 定夫)

清水 まゆみ (井関 和子)

近藤 宏 (南條)

伊藤 柳晴 (南淡町長)

ほか

監督 鈴木清順

原作 原 健三郎

脚本 山崎 巖

ストーリー

看板屋レインボー・アート社の“親爺”が極東観光社長の南條が運転する車にはねられて死んだ。

“親爺”の店を継ぐことにした雇人の主人公の定夫の前に井関という弁護士が現れた。銭湯で、定夫の背中に淡路の地図に似たアザと、葵の紋所の入ったお守り袋を見つけ、淡路の松平家の先代の隠し子ではないかと睨んだのだ。

淡路へ渡った定夫を松平家が居並んで出迎えた。南條が秘書の由紀をつれて淡路にやって来た。南條はこの地でキャバレー「ジョーカー」を経営していたのだ。



(C) 日活

